

2022年11月17日

新日本科学が「IR優良企業賞2022」において IR優良企業奨励賞を受賞

株式会社新日本科学(本店 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長:永田良一、以下「当社」)は、このたび、一般社団法人日本IR協議会が主催する「IR優良企業賞2022」において、IR優良企業奨励賞を受賞しましたので、お知らせいたします。当社は参加・受賞ともに初のこととなります。



「IR優良企業賞」(審査委員長・北川哲雄 青山学院大学名誉教授、東京都立大学特任教授)は、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を挙げた企業を選び表彰することを目的としており、今年で27回目を迎えます。(※「IR優良企業賞」詳細は[こちら](#)をご参照ください)。

当社が受賞したIR優良企業奨励賞は、「IR優良企業賞」に応募した企業のうち、東証スタンダード市場や東証グロース市場、その他新興市場に上場する企業、または東証プライム市場の場合は新規に株式を公開後10年目以内の企業、および同賞に初めて応募する企業のうち、中小型株企業を主な対象として表彰するものです。

今回の当社受賞理由は、以下となっております。

『IRの改善に向けて取り組み、説明力を高めている。IR担当役員を中心に情報開示の内容を充実させ、対話につなげようという意識が高い。IR部門は機関投資家・アナリストを能動的に訪問し経営方針や事業環境を説明している。丁寧な説明によって主要事実の受注状況などがわかるようになり、業績予想しやすくなったという評価を得ている。投資家の視点を反映したIR活動を通じ、資本市場の評価を高めようとする姿勢に注目が集まっている』([一般社団法人日本IR協議会リリース](#)より)

当社は、「環境、生命、人材を大切にできる会社であり続ける」という企業理念に基づき事業を展開しており、その持続的な成長と中長期的な企業価値向上には、ステークホルダーとの対話機会や情報開示の質の向上と拡充が重要と考えております。今後も、当社に関する情報を分かりやすく、透明性をもって公平かつ適時・適切に開示することで経営の透明性を高め、ステークホルダーに寄り添えるようなIR活動を推進してまいります。

<新日本科学について>

株式会社新日本科学(2395:東証プライム)は、国内外の製薬会社や研究機関、バイオベンチャーのパートナーとして医薬品開発業務の受託研究を行う、1957年創業の国内初のCRO(Contract Research Organization)です。新日本科学グループは、「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」という企業理念のもと、CRO事業においては、基礎研究・創薬を含めた医薬品開発の全ステージを受託できる国内唯一の企業としてパートナーの新薬開発支援に取り組むとともに、トランスレーショナルリサーチ事業では、独自開発した経鼻投与製剤技術やデバイスを活用した自社開発品のライセンス活動に注力しています。また、鹿児島県指宿市では、広大な森林と自然を活用したメディポリス事業を行っており、地熱発電やリゾートホテル運営などを通じて地域経済の振興と環境保全を推し進めるとともに、人々のウェルビーイング(Well-being)と生活の質の向上に貢献し、幸せの連鎖を創造する活動を展開しております。詳細については、HP(<https://www.snbl.co.jp/>)をご覧ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR 広報統括部 岩田 俊幸

TEL: 03-5565-6216

E-mail: ir@snbl.com

ホームページ: <https://www.snbl.co.jp/>